



だより



R6.12.4 Vol.30

ブラボー

5.6年の子供たちが出場した市内小・中学校音楽発表会!私も午前中から最後まで全ての学校の発表を聞きました。

午後一番に真穴小学校の発表!サイコーでした!!手前味噌かもしれませんが、鉄琴・木琴・ドラムの3つの打楽器だけで演奏した「ルパン三世のテーマ」はとても新鮮でした。子供たちが楽器に向かい、集中して演奏に取り組む姿はまさにブラボー!6年の男の子も会場に来てすぐそばから応援しながら鑑賞していました。運動会では声の出場でしたが、市内音楽会ではその場に全員が揃うことができました。少しずつ日常が戻りつつあることを感じた日にもなりました。

月曜の朝、指導された先生方に「これまで指導してくださってありがとうございました。」という子供たちの声が校長室にも聞こえてきました。

大縄跳び練習!

朝のスポーツタイムで大縄跳びの練習に取り組んでいます。撮影がてら、その様子を見ているのですが、子供たちの表情がとてもいい!得意な子はもちろんですが、苦手な子も一生懸命、縄を見て、入るタイミングをはかっています。また後ろから合図を送ったり、「今!」と背中をおしてくれたりする子供もいます。無事跳べた時の安堵と喜びの表情。見ている私まで嬉しくなります。

回数を競うものですから、そこには勝ち負けがあり、もしかすると、苦手な子供にはプレッシャーがかかっているのかもしれませんが。それはそれで逆境を乗り越えていく貴重な経験です。何より、チームみんなで力を合わせ乗り越えようとする過程がどれだけ子供の成長を促すか。チーム真穴!我々教員の合言葉ですが、子供もまさにチーム真穴です。

四方山話真穴 ver. 其の三十一(内と外)

熊本で開催された全国人権同和教育研究大会に参加してきました。ホテルから電車で40分ほどの会場へ移動中、乗客の半数以上の方がイヤホンをつけ、スマホの画面を見つめています。私も手持ち無沙汰になると、ついスマホを触ってますから人のことは言えませんが、これも時代なんでしょうね。車窓の外に目をやると、稲刈りを終えた田から二番穂が出ていたり、冬の雲が空を覆っていたりと季節の移ろいも感じるのですが。

電車内、しばらく立った後、連れが空席を見つけ、そこに座りました。隣では女子高生がでかいバッグを足の間に挟み、明らかにわたしのスペースであろう床にまで足を広げています。後からこんなおじさんに隣に座られて、いい気もしないんだろうなと広い心で私が足を閉じて座りました。(笑)

ふと周りに目をやるとカップルが3席分占領してイチャイチャしてたり。(決して羨ましいわけではありません!笑)優先座席に座っている高齢のご婦人がうたた寝している姿を見て、その前に立っているご婦人が、「どこで降りるんですか?声かけますから、寝ていいですよ。」と声をかけて下車まで案内されてたり。ご婦人の立ち居振る舞いに心が温かくなりました。

20年ほど前、携帯電話が若者にも普及し始めたころ、「ケータイを持ったサル」という書籍の中で、電車の中で平気で化粧をする若者たちを痛快に分析した内容がありました。内と外の意識が薄れ、全てが自宅の延長になっている。そんなことが書かれていたように思います。

内と外の意識はなかなか難しく、例えば、家にいる時は学校が外になりますし、学校から見学等に出かける時は、学校という内に対して、見学先が外。そんなふうに変化します。当然、その時と場に応じたマナーや礼儀が生まれてきます。

まだ子供だから!ではなくて子供のうちから!しっかり内と外の区別ができる態度を育てたいですね。